

福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ

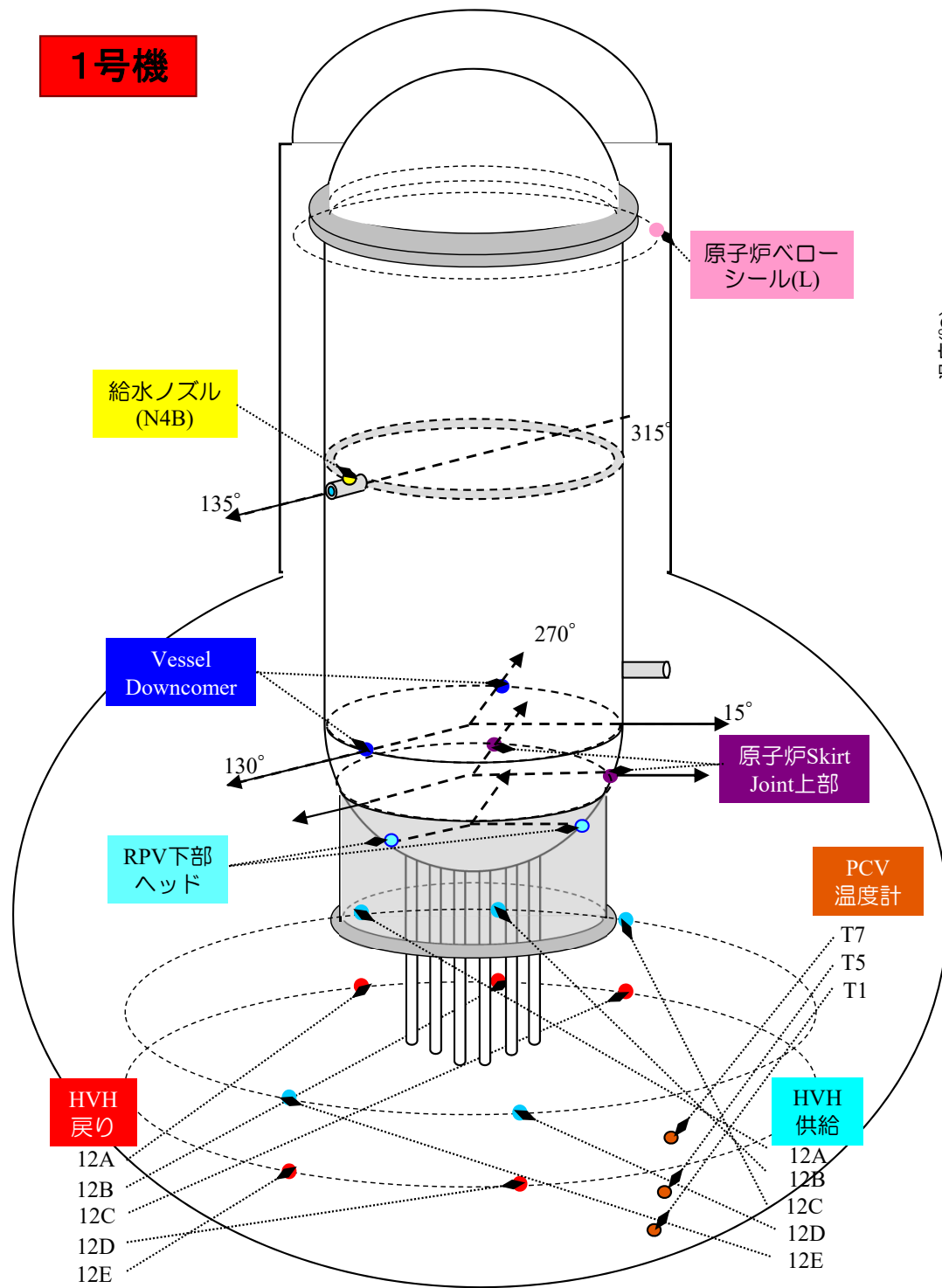
号機	1号機		2号機		3号機	
	5月25日	6月29日	5月25日	6月29日	5月25日	6月29日
原子炉注水状況	給水系：2.5m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (5/25 11:00 現在)	給水系：2.4m ³ /h CS系：1.5m ³ /h (6/29 11:00 現在)	給水系：1.7m ³ /h CS系：0.0m ³ /h (5/25 11:00 現在)	給水系：0.0m ³ /h CS系：1.7m ³ /h (5/25 11:00 現在)	給水系：0.0m ³ /h CS系：1.7m ³ /h (5/25 11:00 現在)	給水系：0.0m ³ /h CS系：2.1m ³ /h (6/29 11:00 現在)
原子炉压力容器 底部温度	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：19.3℃ VESSEL ABOVE SKIRT JOINT (TE-263-69H1)：18.6℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：18.7℃ (5/25 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM HEAD (TE-263-69L1)：22.5℃ VESSEL ABOVE SKIRT JOINT (TE-263-69H1)：21.8℃ VESSEL DOWN COMMER (TE-263-69G2)：22.0℃ (6/29 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：26.5℃ RPV Temperature (TE-2-3-69R)：32.1℃ (5/25 11:00 現在)	VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H3)：29.6℃ RPV Temperature (TE-2-3-69R)：34.2℃ (6/29 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM ABOVE SKIRT JOT (TE-2-3-69F1)：24.7℃ VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H1)：22.5℃ (5/25 11:00 現在)	VESSEL BOTTOM ABOVE SKIRT JOT (TE-2-3-69F1)：26.8℃ VESSEL WALL ABOVE BOTTOM HEAD (TE-2-3-69H1)：26.8℃ (6/29 11:00 現在)
原子炉格納容器 内温度	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：18.6℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：18.7℃ (5/25 11:00 現在)	HVH-12A RETURN AIR (TE-1625A)：21.9℃ HVH-12A SUPPLY AIR (TE-1625F)：21.9℃ (6/29 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：26.8℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：26.9℃ (5/25 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114B)：30.0℃ SUPPLY AIR D/W COOLER HVH2-16B (TE-16-114G#1)：29.9℃ (6/29 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114A)：22.5℃ SUPPLY AIR D/W COOLER (TE-16-114F#1)：22.2℃ (5/25 11:00 現在)	RETURN AIR DRYWELL COOLER (TE-16-114A)：13.9℃ SUPPLY AIR D/W COOLER (TE-16-114F#1)：26.4℃ (6/29 11:00 現在)
原子炉格納容器 圧力	0.20kPa g (5/25 11:00 現在)	0.09kPa g (6/29 11:00 現在)	3.95kPa g (5/25 11:00 現在)	4.10kPa g (6/29 11:00 現在)	0.45kPa g (5/25 11:00 現在)	0.47kPa g (6/29 11:00 現在)
窒素封入流量 ※1	RPV (RVH-A)：-Nm ³ /h RPV (RVH-B)：15.30Nm ³ /h (JP-A)：14.06Nm ³ /h (JP-B)：-Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/25 11:00 現在)	RPV (RVH-A)：-Nm ³ /h RPV (RVH-B)：15.26Nm ³ /h (JP-A)：14.37Nm ³ /h (JP-B)：-Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/29 11:00 現在)	RPV-A：6.47Nm ³ /h RPV-B：6.51Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/25 11:00 現在)	RPV-A：6.37Nm ³ /h RPV-B：6.39Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/29 11:00 現在)	RPV-A：8.28Nm ³ /h RPV-B：8.55Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (5/25 11:00 現在)	RPV-A：8.15Nm ³ /h RPV-B：8.44Nm ³ /h PCV：-Nm ³ /h ※2 (6/29 11:00 現在)
原子炉格納容器 酸素濃度 ※3	A系：0.00vol% B系：0.00vol% (5/25 11:00 現在)	A系：0.00vol% B系：0.00vol% ※8 (6/29 11:00 現在)	A系：0.06vol% B系：0.08vol% (5/25 11:00 現在)	A系：0.07vol% B系：0.09vol% (6/29 11:00 現在)	A系：0.12vol% B系：0.11vol% (5/25 11:00 現在)	A系：0.11vol% B系：0.10vol% (6/29 11:00 現在)
原子炉格納容器 放射能濃度 (Xe135)	A系：8.08E-04Bq/cm ³ B系：1.08E-03Bq/cm ³ (5/25 11:00 現在)	A系：8.39E-04Bq/cm ³ B系：7.65E-04Bq/cm ³ ※8 (6/29 11:00 現在)	A系：ND(1.3E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.3E-01Bq/cm ³ 以下) (5/25 11:00 現在)	A系：ND(1.3E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.3E-01Bq/cm ³ 以下) (6/29 11:00 現在)	A系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下)※7 (5/25 11:00 現在)	A系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) B系：ND(1.9E-01Bq/cm ³ 以下) (6/29 11:00 現在)
使用済燃料 プール水温度	25.1℃ (5/25 11:00 現在)	31.8℃ (6/29 11:00 現在)	24.3℃ (5/25 11:00 現在)	31.4℃ (6/29 11:00 現在)	-℃ ※5 (5/25 11:00 現在)	-℃ ※5 (6/29 11:00 現在)
FPC 水位	3.83m (5/25 11:00 現在)	4.10m (6/29 11:00 現在)	2.97m (5/25 11:00 現在)	4.09m (6/29 11:00 現在)	4.04m ※6 (12/13 5:00 現在)	4.04m ※6 (12/13 5:00 現在)

号機	4号機		5号機		6号機	
	5月25日	6月29日	5月25日	6月29日	5月25日	6月29日
使用済燃料 プール水温度	-℃ ※4 (5/25 11:00 現在)	-℃ ※4 (6/29 11:00 現在)	19.6℃ (5/25 11:00 現在)	19.4℃ (6/29 11:00 現在)	21.1℃ (5/25 11:00 現在)	20.3℃ (6/29 11:00 現在)
FPC 水位	4.39m ※4 (5/25 11:00 現在)	6.70m ※4 (6/29 11:00 現在)	2.90m (5/25 11:00 現在)	3.50m (6/29 11:00 現在)	2.85m (5/25 11:00 現在)	2.80m (6/29 11:00 現在)

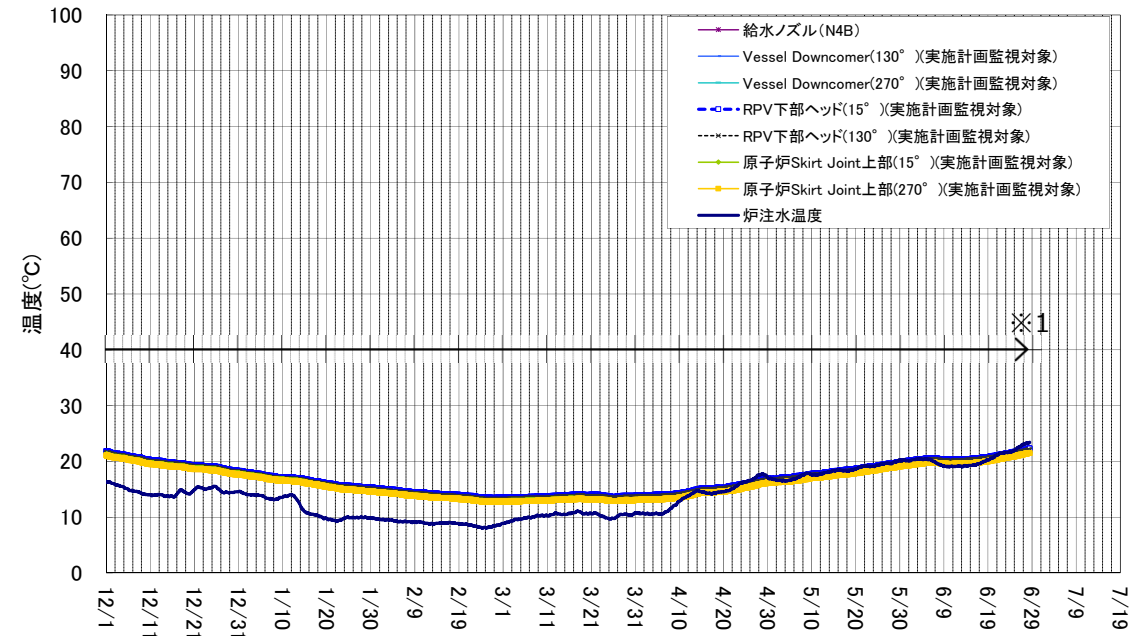
※1: 使用状態の温度・圧力で流量補正した値を記載する
 ※2: 窒素封入停止中
 ※3: 指示値がマイナスの場合は0.00vol%と記載する。(酸素濃度が極めて低い場合は、計器精度によりマイナス表示される場合があるため)
 ※4: 4号機は使用済燃料の取り出しが完了しており、温度監視は不要。
 ※5: 3号機は使用済燃料の取り出しが完了しており、温度監視は不要。
 ※6: 3号機使用済燃料プール循環冷却系二次系の切り離し作業に伴い、3号機SFP一次冷却系ポンプを全停止している為、測定不可。停止直前の値を記載する(2021/12/13～)
 ※7: 3号機PCVガス管理システムダストモニタ点検(5/25)に伴い測定不可。停止直前(5/25 9:00時点)の値を記載する
 ※8: 1号機PCVガス管理システムダストポンプ二重化工事(6/29)に伴い測定不可。停止直前(6/29 10:00時点)の値を記載する

※注水冷却を継続することにより、1～3号機の原子炉压力容器底部温度、格納容器気相部温度は、号機や温度計の位置によって異なるものの、至近1ヶ月において、約20℃～約35℃で推移。
 格納容器内圧力や格納容器からの放射性物質の放出量等のパラメータについては有意な変動はなく、冷却状態の異常や臨界等の兆候は確認されていない。
 以上より、総合的に冷温停止状態を維持しており、原子炉が安定状態にあることを確認。

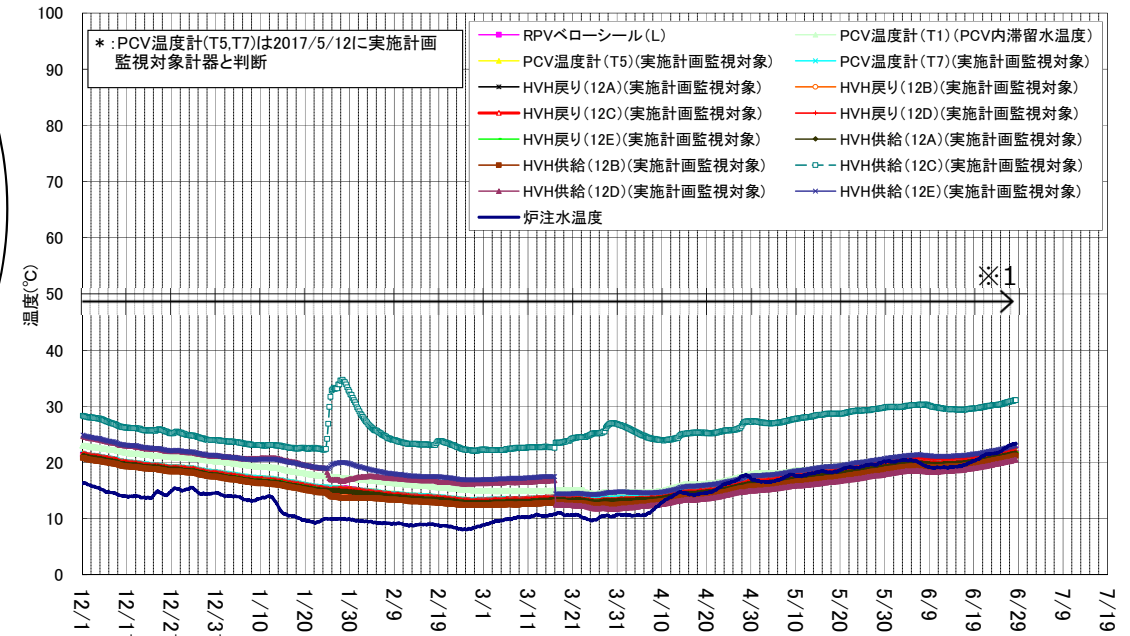
1号機



1号機 原子炉圧力容器まわり温度(12/1~6/28)

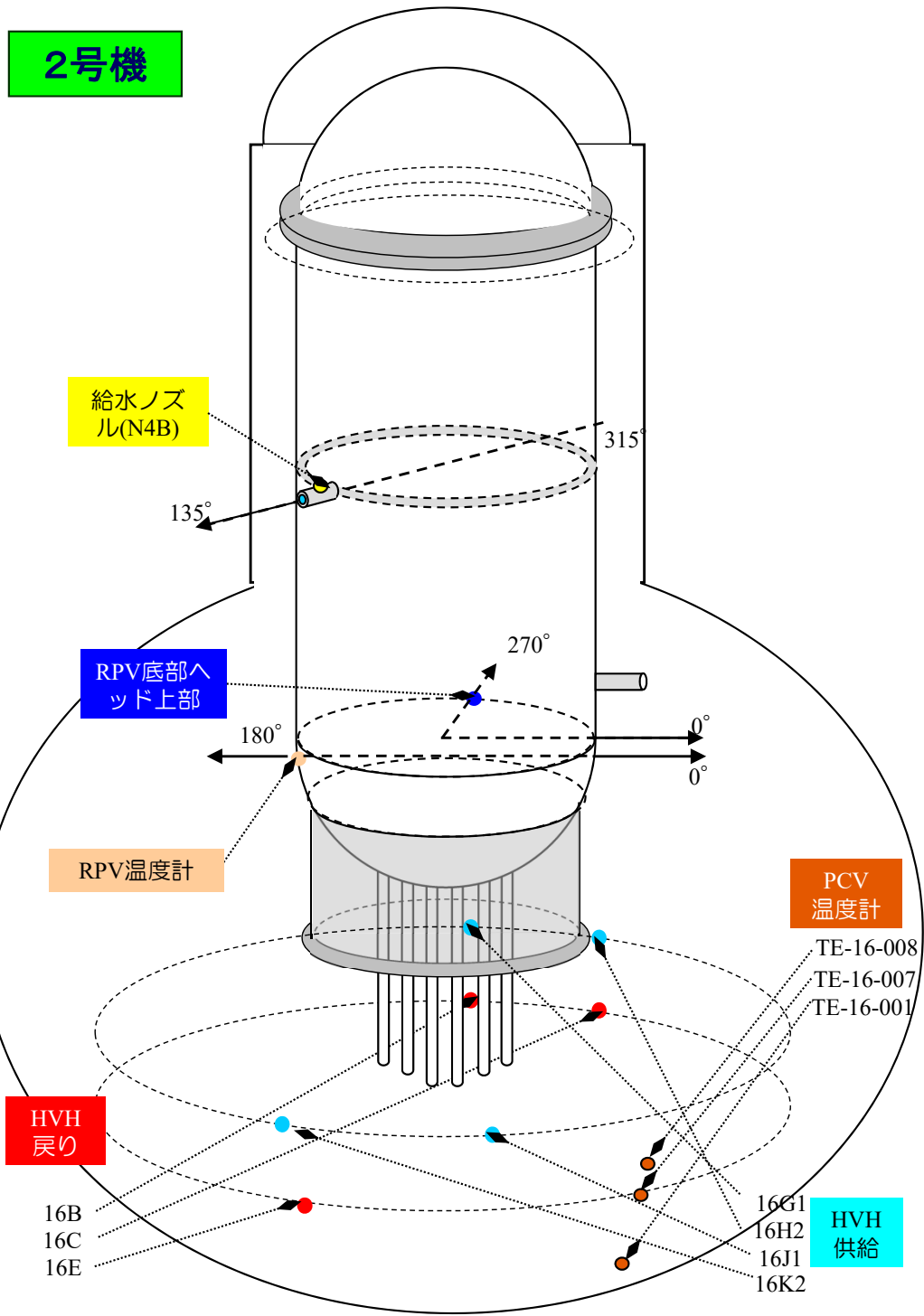


1号機 D/W雰囲気温度(12/1~6/28)

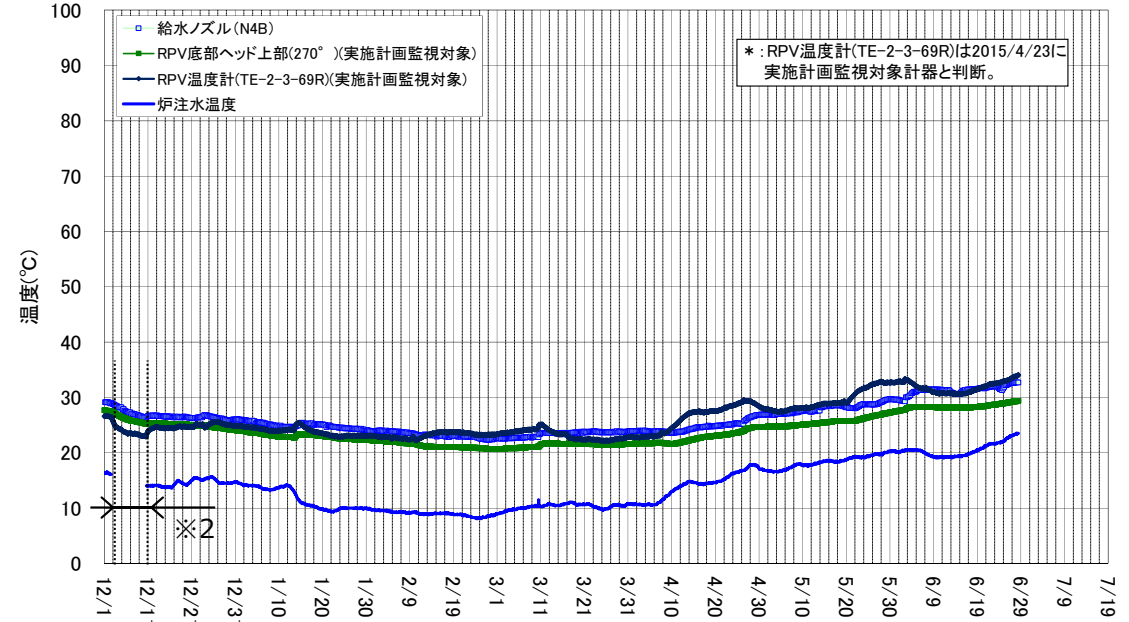


※1 2021/6/11~PCV内減圧(期間中大気圧の変動及びAWJ作業に伴い一部の温度計のデータが変動)

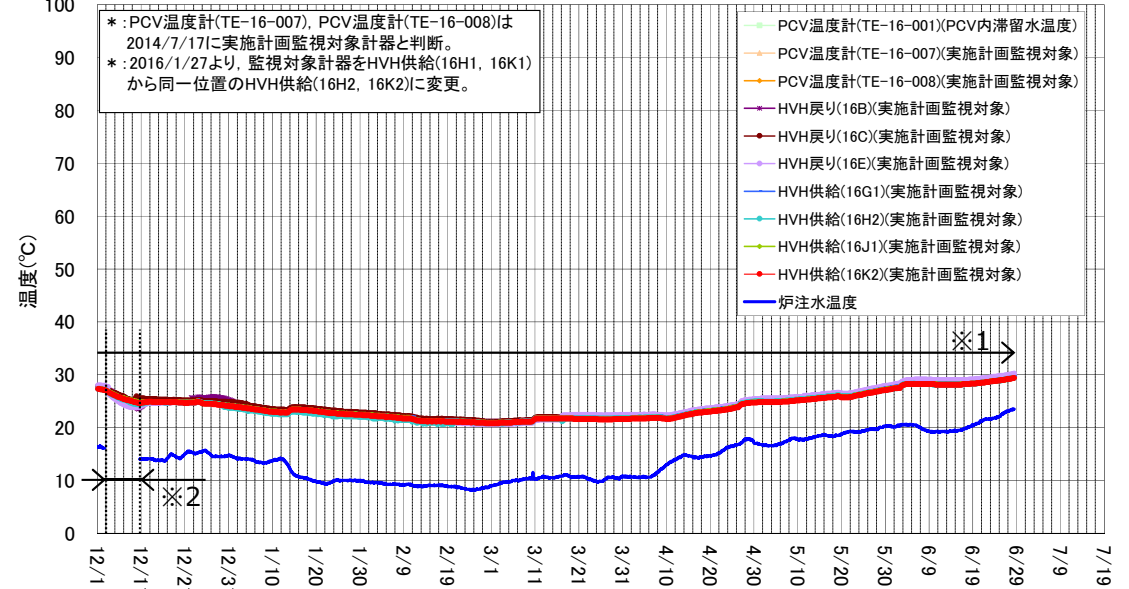
2号機



2号機 原子炉压力容器まわり温度(12/1~6/28)

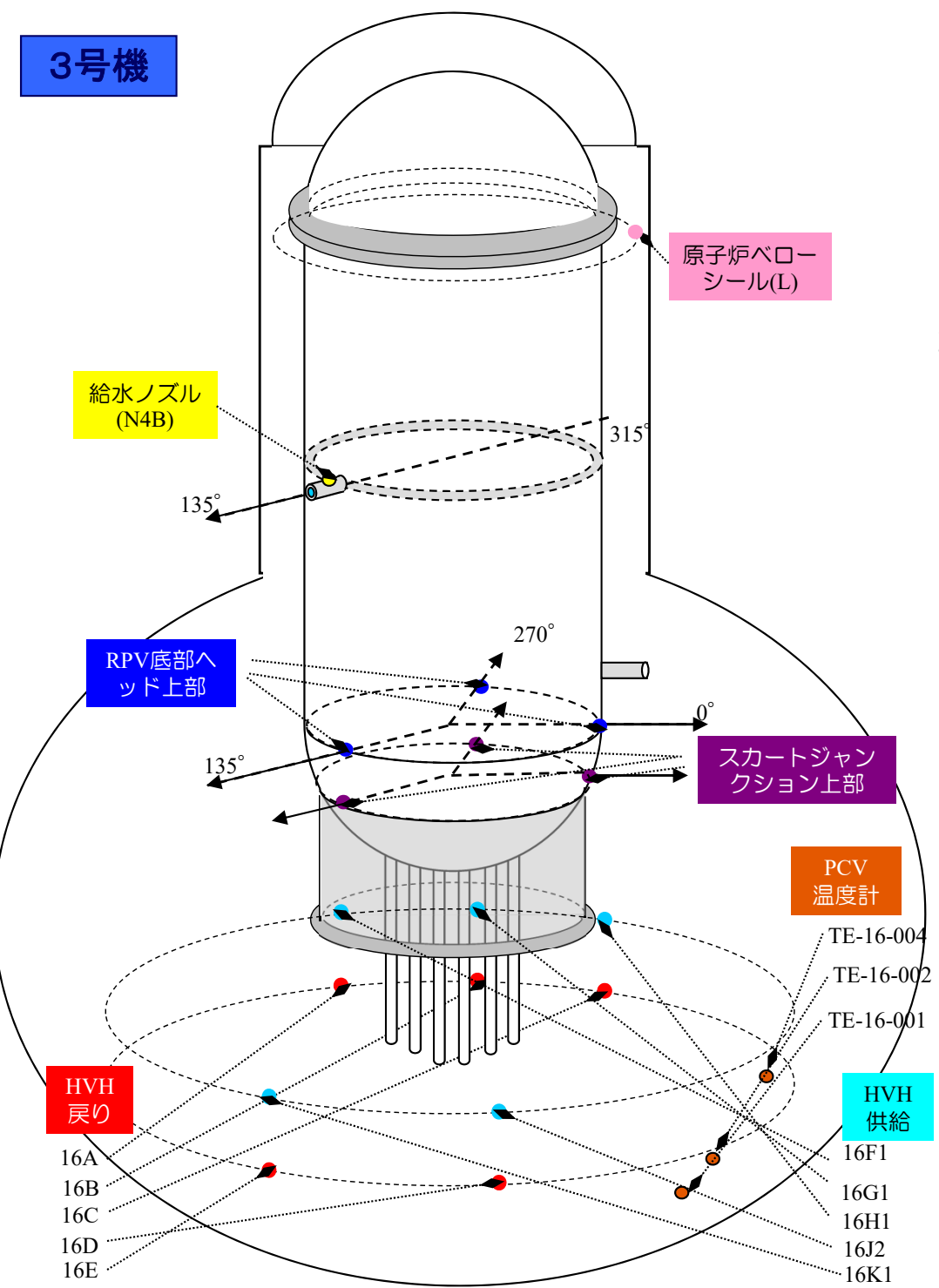


2号機 D/W雰囲気温度(12/1~6/28)

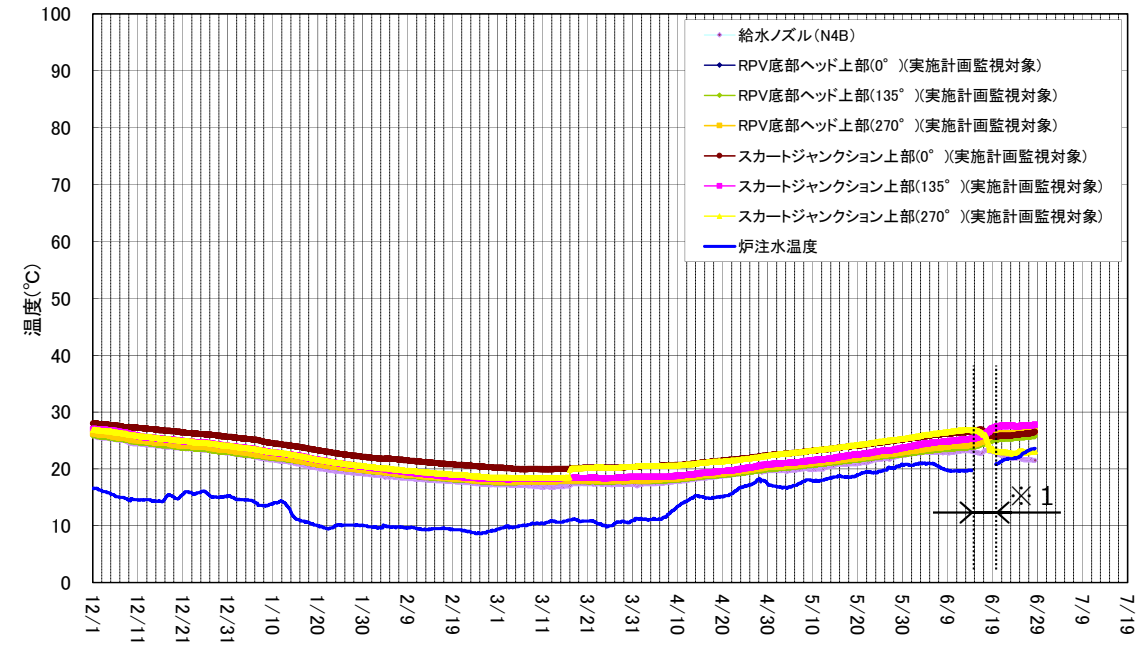


※1 2020/11/10~ PCV内部調査及び試験的取り出しの準備作業に伴い一部の温度計 (TE-16-001,007,008) のデータが欠測
 ※2 2021/12/2~ 12/10 炉注水源切替(CST→高台炉注)に伴い、グラフの温度計(CST炉注)データが欠測

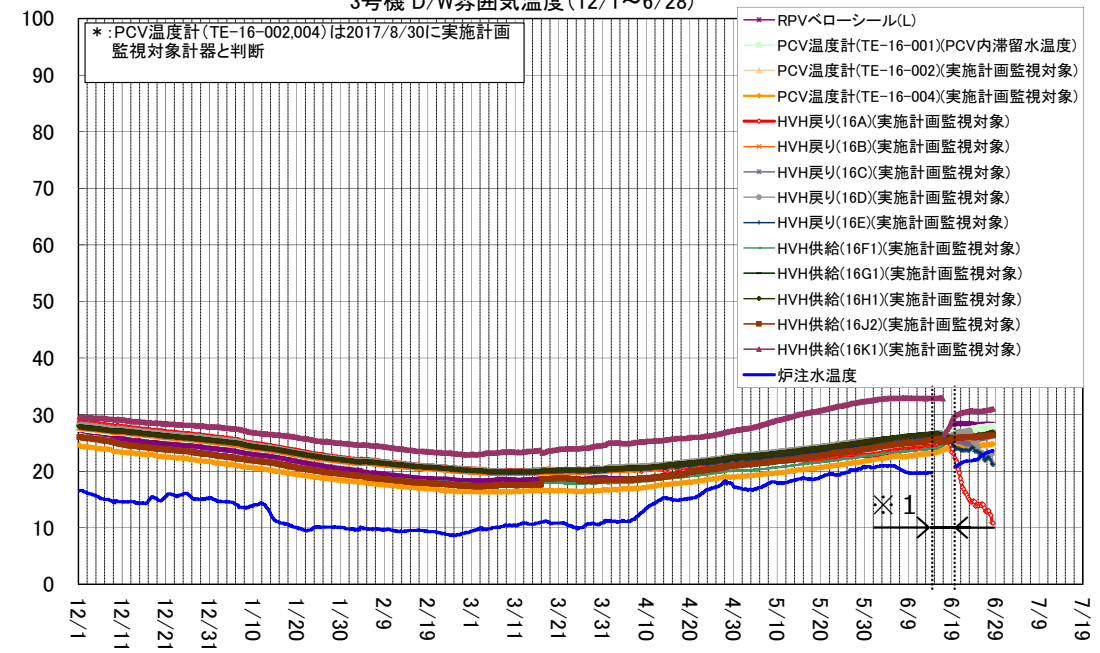
3号機



3号機 原子炉压力容器まわり温度 (12/1~6/28)



3号機 D/W雰囲気温度 (12/1~6/28)



※1 2022/6/14~6/19 原子炉注水停止試験実施

滞留水の貯蔵及び処理の状況概略

- ①建屋内滞留水水位及び貯蔵量
 - ・建屋内滞留水水位は運転上の制限を満足
- ②1~4号機タンク貯蔵量
 - ・淡水化装置による処理により、RO処理水(淡水)及び濃縮塩水の貯蔵量は変動あり
 - ・蒸発濃縮装置は全台停止中
- ③5、6号機滞留水貯蔵量
 - ・構内散水によりFエリアタンク貯蔵量は変動あり
- ④廃棄物発生量
 - ・除染装置停止中のため、廃スラッジ貯蔵量は変動なし

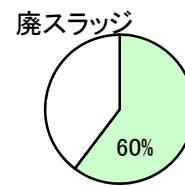
①建屋内滞留水水位及び貯蔵量

施設	貯蔵量	T/B建屋内水位
1号機	約1,100 m ³	-※7
2号機	約1,130 m ³	-※7
3号機	約1,870 m ³	-※7
4号機	約10 m ³	-※7
合計	約4,110 m ³	

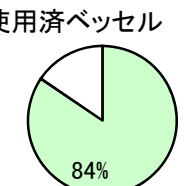
貯蔵施設	貯蔵量	水位
プロセス主建屋	約5,590 m ³	T.P.-285
高温焼却炉建屋	約2,600 m ³	T.P.-100
合計	約8,190 m ³	

	貯蔵量	貯蔵容量
廃液供給タンク	948 m ³	1,200 m ³
SPT(B)	1,693 m ³	3,100 m ³
合計	+1406[m ³ /4週]	+843[m ³ /週]

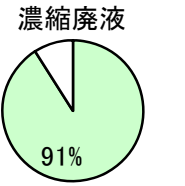
④廃棄物発生量



保管量:422/700[m³]*3

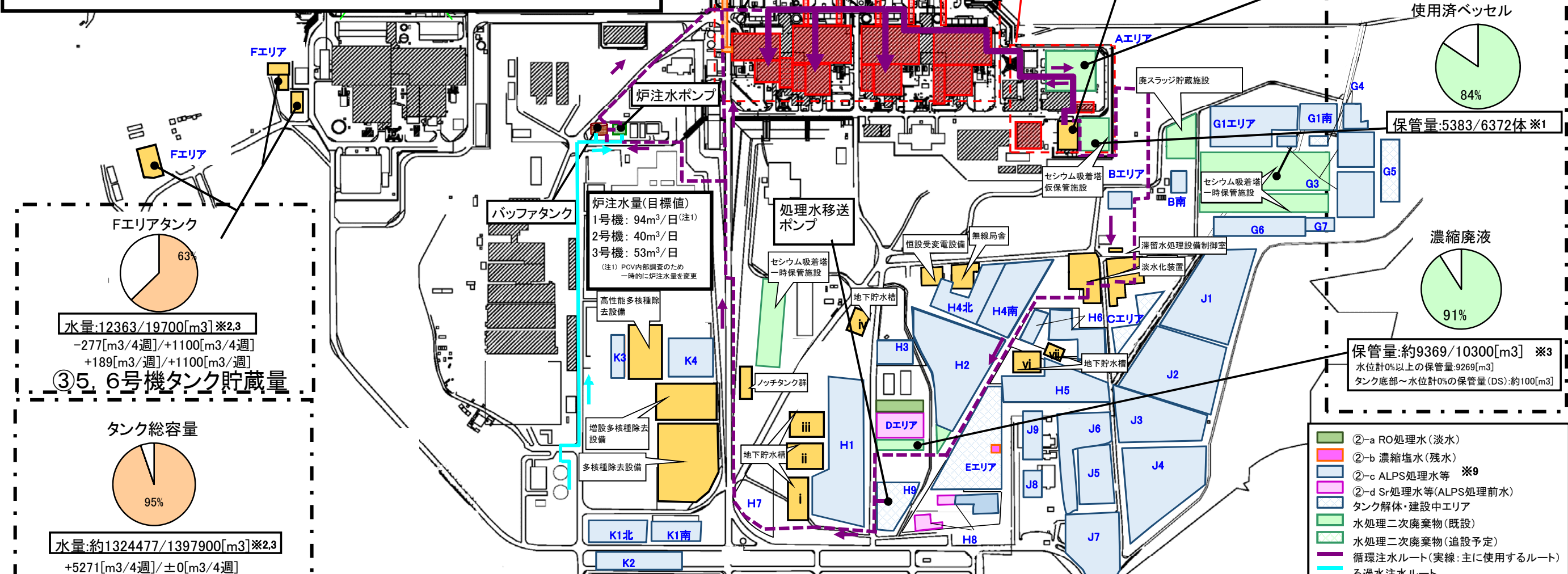


保管量:5383/6372体*1

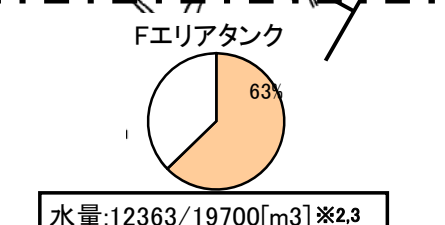


保管量:約9369/10300[m³]*3
水位計0%以上の保管量:9269[m³]
タンク底部~水位計0%の保管量(DS):約100[m³]

- ②-a RO処理水(淡水)
- ②-b 濃縮塩水(残水)
- ②-c ALPS処理水等 ※9
- ②-d Sr処理水等(ALPS処理前水)
- タンク解体・建設中エリア
- 水処理二次廃棄物(既設)
- 水処理二次廃棄物(追設予定)
- 循環注水ルート(実線:主に使用するルート)
- ろ過水注水ルート

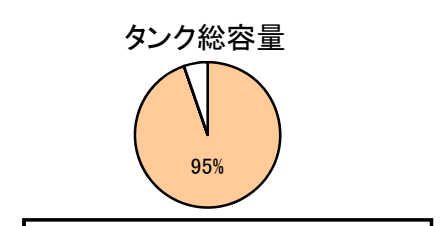


炉注水量(目標値)
1号機: 94m³/日(注1)
2号機: 40m³/日
3号機: 53m³/日
(注1) PCV内部調査のため
一時的に炉注水量を変更



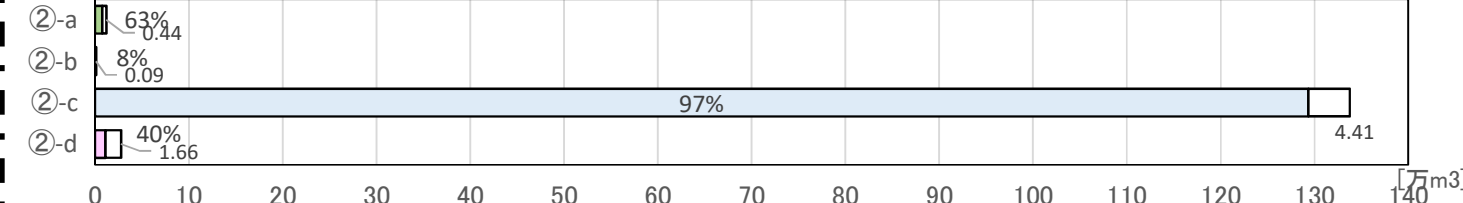
水量:12363/19700[m³]*2,3
-277[m³/4週]/+1100[m³/4週]
+189[m³/週]/+1100[m³/週]

③5、6号機タンク貯蔵量



水量:約1324477/1397900[m³]*2,3
+5271[m³/4週]/±0[m³/4週]
+2746[m³/週]/+1100[m³/週]

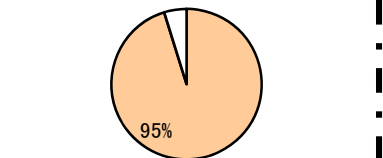
②タンク貯蔵量合計(②+③)



項目	水量	水位	タンク底部~水位計0%の水量(DS)
②-a RO処理水(淡水)	約7554/12000[m ³]*2,3	水位計0%以上の水量:7454[m ³]	約100[m ³]
②-b 濃縮塩水(残水)	約100/1000[m ³]*2,3	水位計0%以上の水量:約0[m ³]	約100[m ³]
②-c ALPS処理水等 ※9	約1293493/1337600[m ³]*2,3,4,6	水位計0%以上の水量:1291193[m ³]	約2300[m ³]
②-d Sr処理水等 (ALPS処理前水)	約10987/27600[m ³]*2,3	水位計0%以上の水量:10787[m ³]	約200[m ³]

②1~4号機タンク貯蔵量

1~4号機タンク総容量



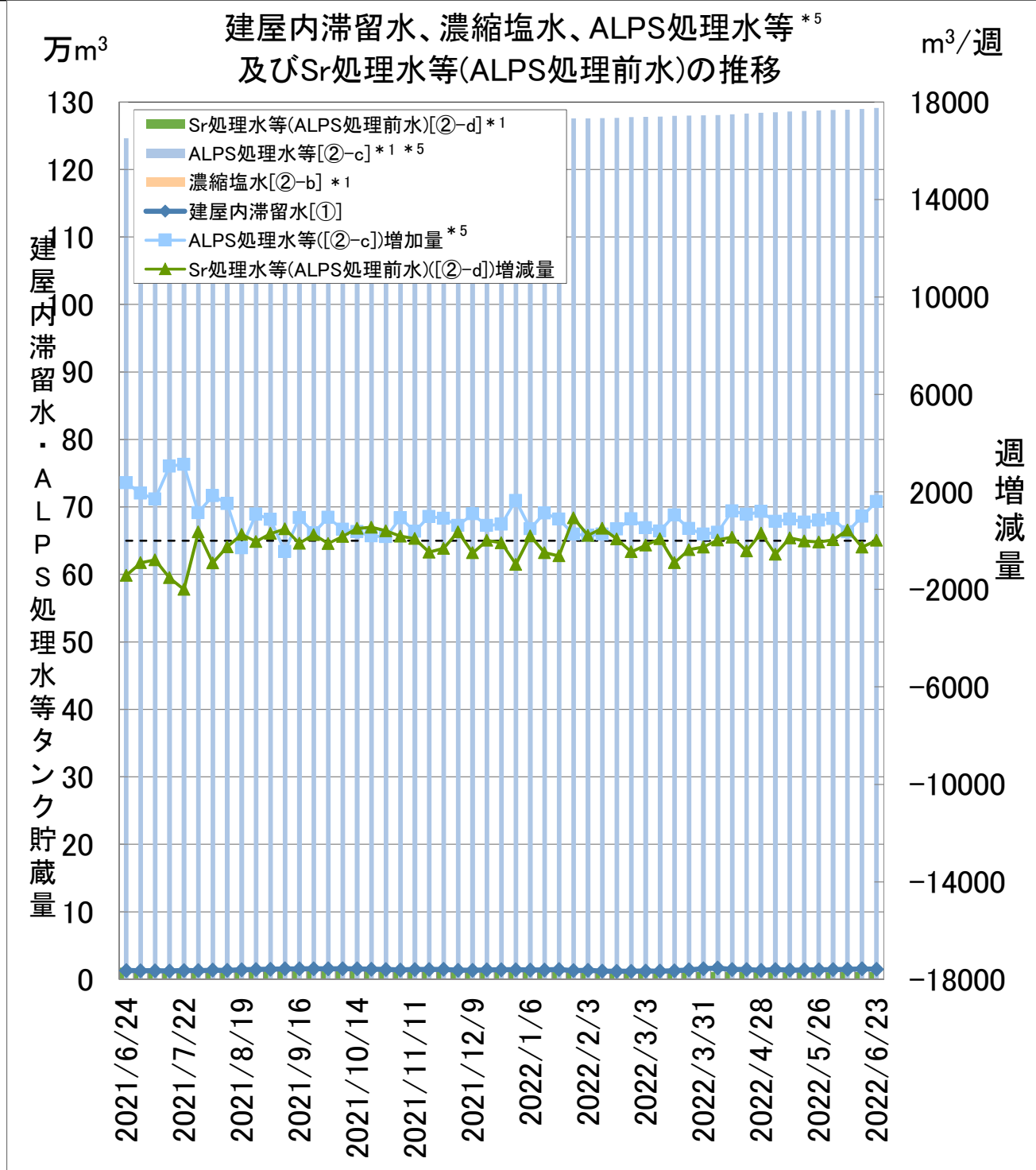
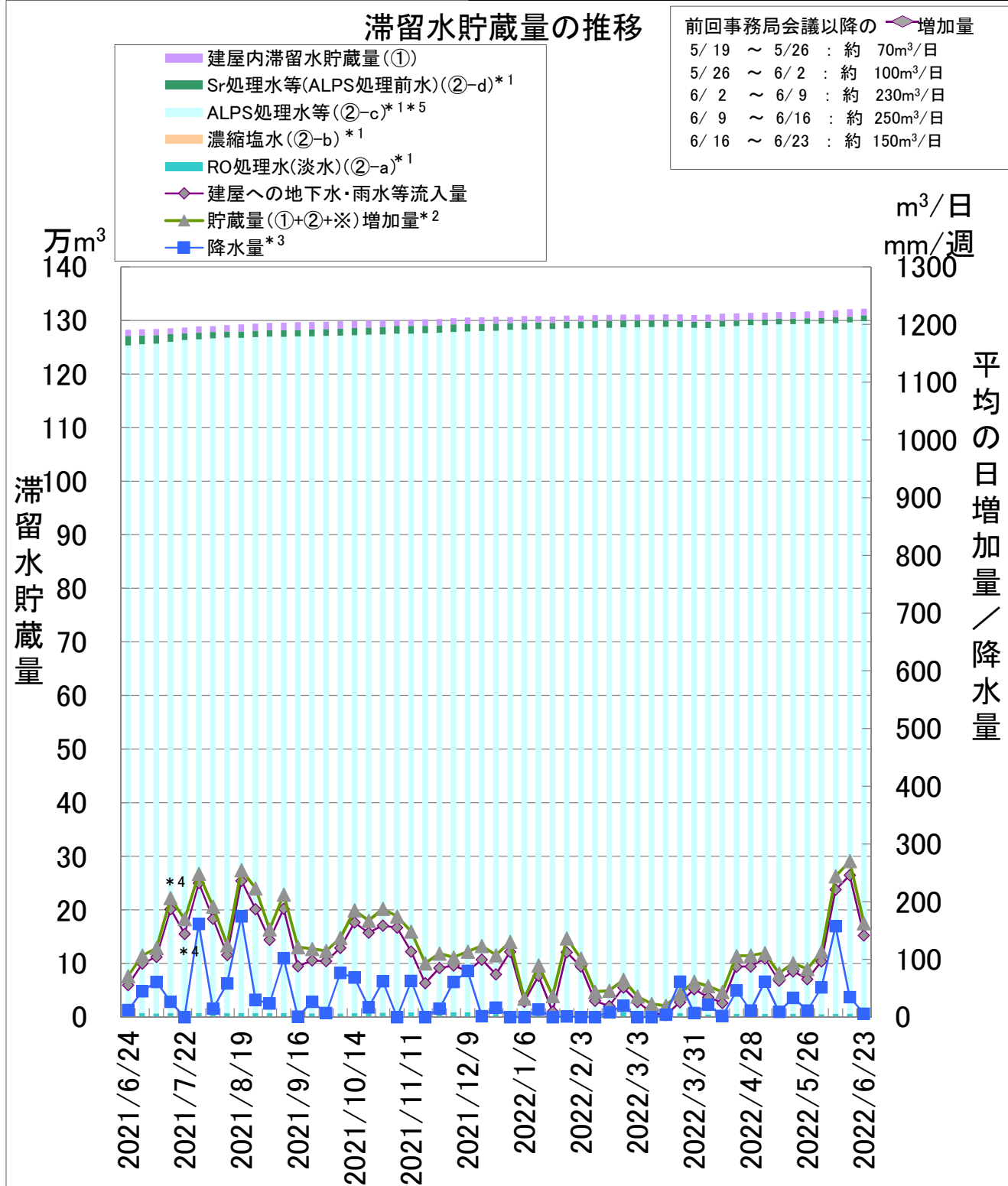
水量:約1312114/1378200[m³]*2,3,4
+5548[m³/4週]/-1100[m³/4週]
+2557[m³/週]/±0[m³/週]

建屋内貯蔵量 + 1~4号機タンク貯蔵量(①+②)

水量:約1327055[m³]*5
+6464[m³/4週] ※5
+1980[m³/週]

※1 第二セシウム吸着装置使用済ベッセル及び多核種除去設備の保管容器、処理カラム及びモバイル式処理装置使用済ベッセル含む
 ※2 装置稼働中につき水位が安定しないため参考扱い
 ※3 貯蔵容量は運用上の上限を示す(タンクの貯蔵容量は10の位を切り捨てて表記。端数処理上、水量の総和と異なる場合がある)
 ※4 多核種除去設備等(ホット試験中)の処理済水を貯蔵するが、タンクの運用状況に応じて淡水や濃縮塩水を貯蔵
 ※5 ウェルポイント・地下水ドレン(約90m³/週)、その他移送量(約20m³/週)の合計約110m³/週を含む(端数処理上、各移送量の総和と異なる場合がある)
 ※6 放射性物質濃度が高い多核種除去設備B系出口水を含む
 ※7 1~4号機T/Bは水抜きが完了しているため、水位を「-」表記
 ※8 フランジ型タンクに貯蔵するSr処理水の処理完了(2018/11/17)フランジ型タンクに貯蔵する多核種除去設備等処理済水の移送完了(2019/3/27)。引き続き、残水処理を進める観点から、以後、フランジ型タンクのタンク底部~水位計0%の水量(DS)は水位計0%以上の水量に含める
 ※9 多核種除去設備等の処理水の表記について、国のALPS処理水の定義変更に伴い、表記を見直し(2021/4/27)

滞留水の貯蔵状況の推移



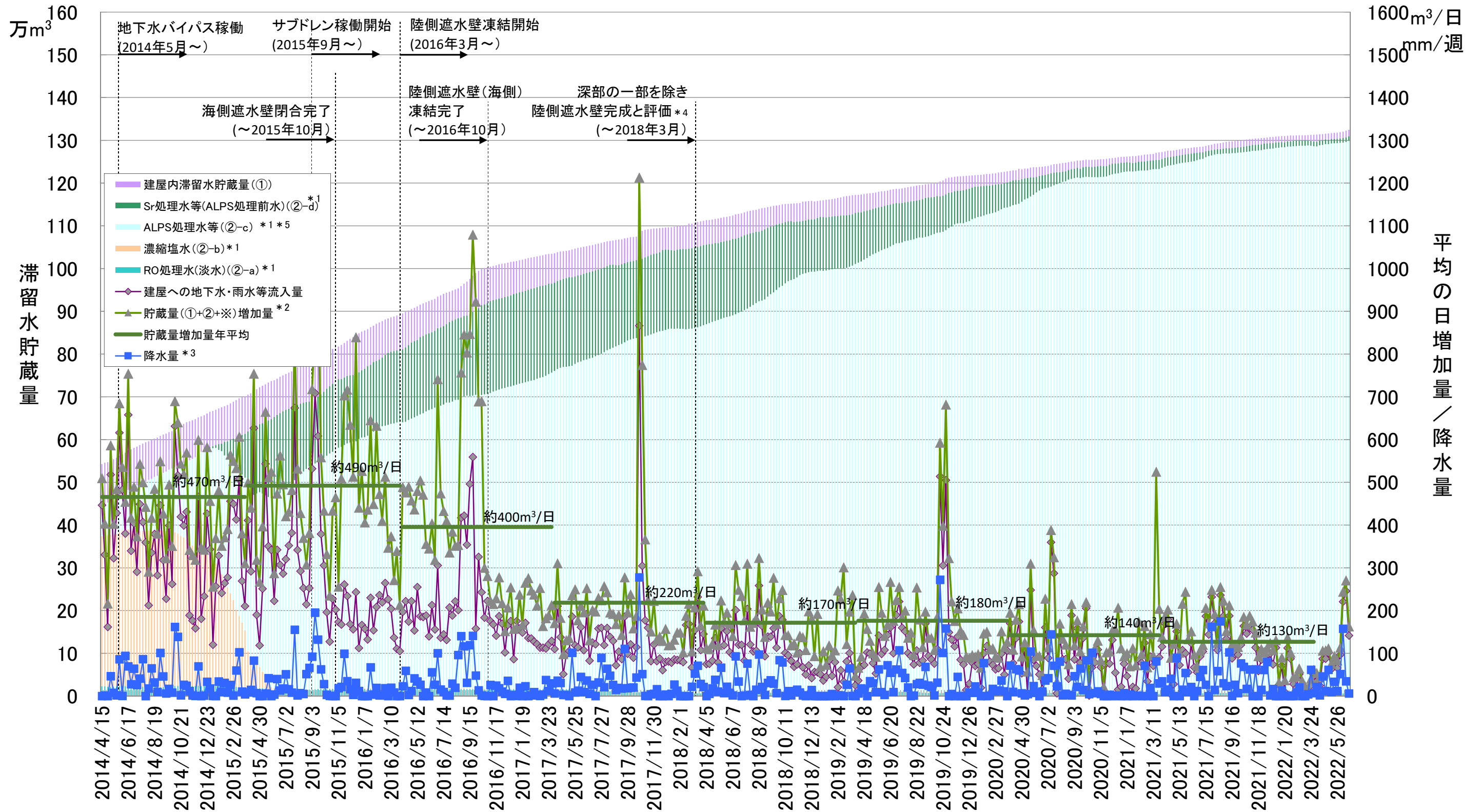
多核種除去設備等の稼働状況

設備	期間処理水 ^{注1,4)}		定格処理量
	[m ³ /週] ^{注2)}	[m ³ /4週]	[m ³ /日]
既設多核種除去設備	1,070	2,814	750以上
増設多核種除去設備	0	509	750以上
高性能多核種除去設備	0	0	500以上
高性能 検証試験装置	0	0	50
合計	1,070	3,323	

注1) 処理量は全て出口積算流量計から算出しており、薬液注入量を含む。
 注2) 処理量の内訳はRO濃縮塩水処理量0m³、Sr処理水処理量984m³、処理水処理量0m³、薬液注入量他86m³注3)。
 注3) 処理水を用いて粉体を溶かし生成している薬液量(43m³)を含む。
 注4) 処理水増加量を基にした算出方法から、設備の出口積算流量計を基にした算出方法に、2020年11月26日より見直し。

①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))
 ②: 1~4号機タンク貯蔵量(〔②-a〕RO処理水(淡水))+〔②-b〕濃縮塩水+〔②-c〕ALPS処理水等^{*5}+〔②-d〕Sr処理水等(ALPS処理前水))
 ※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)
 *1: 水位計0%以上の水量
 *2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)
 [(建屋への地下水・雨水等流入量)+(その他移送量)+(ALPS薬液注入量)
 *3: 2018/12/13より浪江地点の降水量から1F構内の降水量に変更。
 *4: 建屋内滞留水の水位低下の影響で、評価上、建屋への地下水・雨水等流入量が一時的に変動したものと推定。(2021/7/8~7/22)
 *5: 多核種除去設備等の処理水の表記について、国のALPS処理水の定義変更に伴い、表記を見直し(2021/4/27)

滞留水の貯蔵状況の推移(長期グラフ)



①: 建屋内滞留水貯蔵量(1~4号機、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋、廃液供給タンク、SPT(B))

②: 1~4号機タンク貯蔵量

*5

[[②-aRO処理水(淡水)]+[②-b濃縮塩水]+[②-cALPS処理水等]+[②-dSr処理水等(ALPS処理前水)]]

※: タンク底部から水位計0%までの水量(DS)

*1: 水位計0%以上の水量

*2: 貯蔵量増加量の精度向上として、2017/2/9より算出方法を以下の通り見直し。(2018/3/1見直し実施)

[(建屋への地下水・雨水等流入量)+(其他移送量)+(ALPS薬液注入量)]

*3: 2018/12/6まで浪江地点の降水量を使用していたが、2018/12/13より1F構内の降水量に変更

*4: 深部未凍結箇所3箇所については、2018年9月までに凍結完了

*5: 多核種除去設備等の処理水の表記については、国のALPS処理水の定義変更に伴い、表記を見直し(2021/4/27)

各エリア別タンク一覧

(2022年6月23日 現在)

※下線部は前回事務局会議資料からの変更点

堰エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
B	10	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	27	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
B南	7	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
D	19	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
	12	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	RO処理水(淡水)	
E	<u>1</u>	<u>1000</u>	<u>鋼製円筒型タンク(フランジ接合)</u>	濃縮塩水	残水処理中
G1	66	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G1南	8	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	15	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3東	24	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G3西	39	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G3北	6	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
G4南	26	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G6	38	1330	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
G7	10	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H1	63	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
H1東	24	1220	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H2	44	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H3	10	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
H4北	35	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H4南	13	1060	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
	38	1140	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H5	32	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
H6(I)	11	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H6(II)	24	1356	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
H8北	5	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(C)	
H8南	8	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水	
	3	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	Sr処理水等(R)	
J1	98	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
	2	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水 (高性能検証試験装置)	

掘エリア	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
J2	42	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J3	22	2400	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J4	30	2900	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
	5	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J5	35	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J6	38	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
J7	42	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設・高性能)	
J8	9	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
J9	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K1北	12	1200	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
K1南	10	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
K2	28	1057	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
K3	12	700	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	
K4	35	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(既設・増設)	
多核種除去設備	4	1100	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	多核種除去設備 処理済水(既設)	
高性能多核種 除去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(高性能)	
増設多核種除 去設備	3	1235	鋼製円筒型タンク(溶接)	多核種除去設備 処理済水(増設)	

合計 1060

Sr:処理水等内訳 C:セシウム吸着装置等、R:RO濃縮水処理設備

D	10	1000	鋼製円筒型タンク(溶接)	濃縮廃液	
H2	3	100	鋼製横置きタンク(溶接)	濃縮廃液	

	基数	1基あたり 容量(公称) [m3]	タンク型	貯蔵水	備 考
F2	6	35	鋼製角型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Aタンク
	6	42	鋼製角型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Aタンク
	4	110	鋼製角型タンク(溶接+フランジ接合)	5、6号機滞留水	Bタンク
	5	160	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	Cタンク
	2	200	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	Cタンク
F1	3	299	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	hijタンク
	18	508	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	5、6号機滞留水	hijタンク
	5	1100	鋼製円筒型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Kタンク
	3	1160	鋼製円筒型タンク(溶接)	5、6号機滞留水	Nタンク 構内散水から5.6号機滞留水に1基 用途変更

合計 52

H3	9	1000	鋼製円筒型タンク(フランジ接合)	地下水	
----	---	------	------------------	-----	--

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.6.23時点)

リスク観点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考	
1	2号機大物搬入口屋上	・2号機大物搬入口屋上	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【2階】 Cs-134: <1.0E1 Cs-137: 2.1E1 全β: 2.6E1 H-3: 1.0E2 (2015.11.2) 【1階】 Cs-134: 1.1E1 Cs-137: 4.9E1 全β: 4.1E1 H-3: 1.1E2 (2015.11.2)		
1-2	2号機R/B	2号機R/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【上層】 Cs-134: 200~340 Cs-137: 650~1100 全β: 920~1900 Sr-90: 10~20 H-3: ND(<100) (2015.1.16)		
2	5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	・5.6号機貯留タンク(フランジタンク)	6号機北側	約8,000 (2022.3.24時点) 約6,800 (2022.6.13時点)	Cs-134: 2.3E0 Cs-137: 8.2E1 (2022.4.20)	2.2E0 8.8E1 (2022.5.18)	5・6号建屋滞留水・RO処理水を貯留
3	5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	・5.6号機貯留タンク(溶接タンク)	6号機北側	約5,500 (2022.3.24時点) 約5,400 (2022.6.13時点)	Cs-134: 7.7 Cs-137: 4.3E1 (2016.10.3)		5・6号建屋滞留水を貯留
4-2	吸着塔一時保管施設	水処理二次廃棄物(SARRY、KURION、ALPS処理カラム、モバイル式処理装置)	吸着塔一時保管施設(第一施設、第四施設)	1程度(1基あたり)	Cs-137: 2.0E3~1.6E7 Sr-90: 5.3E3~4.3E7 (2017.2~2017.3)		
7	濃縮水タンク(蒸発濃縮装置濃縮水)	蒸発濃縮装置濃縮水用ノッチタンク(スラリー/濃縮水)	タンクエリア(Cエリア)	約65※1 (2019.2.1時点)	Cs-134: 1.7E4 Cs-137: 2.5E4 4.7E8 全β: (2011.12.20)		蒸発濃縮装置濃縮水を貯留 ※1: 全5タンクの水量を測定して算出
9	5・6号機逆洗弁ピット及び吐出し弁ピット	・6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	6号機スクリーン近傍	約850	Cs-134: ND Cs-137: 1.8E0 (2022.2.1)		
		・5号機逆洗弁ピット	5号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 3.0E0 Cs-137: 1.9E1 (2016.10.3)		
		・6号機逆洗弁ピット	6号タービン建屋海側	約1,500	Cs-134: 1.5E0 Cs-137: 1.1E1 (2016.10.3)		
10	1~4号機T/B屋根	・1号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	【1号機T/B上層】 Cs-134: 2.4E1 Cs-137: 8.3E2 (2022.3.18) 全β: 4.4E1 (2020.7.29)	6.4E1 2.6E3 (2022.5.26)	
		・2号機T/B	建屋エリアに存在する建屋	降雨量により変動	Cs-134: ND Cs-137: 1.1E2 (2022.3.18) 全β: 8.9E0 (2020.7.29)	ND 1.2E2 (2022.5.26)	
11	1号CSTタンク(溶接タンク)	・1号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約740 (2016.10.26)	Cs-134: 2.9E+4 Cs-137: 1.9E+5 全β: 2.2E+5 (2016.11.7)		RO処理水を貯留
12	2号CSTタンク(溶接タンク)	・2号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,560 (2022.3.22)	【CST入口水(淡水化装置出口水)】 H-3: 2.3E5 Sr-90: ND (2022.3.14)	3.7E5 ND (2022.5.6)	2020.3.18より1~3号機炉注水源としての運用開始
					【2号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.6E+02 Cs-137: 1.7E+03 (2018.12.14) 全β: 1.5E+03 (2018.12.19)		
13	3号CSTタンク(溶接タンク)	・3号CSTタンク(溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,980 (2022.3.22)	【3号CSTタンク貯留水】 Cs-134: 1.9E+2 Cs-137: 3.5E+3 全β: 6.3E+3 H-3: 7.5E+5 (2020.7.16)		RO処理水を貯留 1~3号機炉注水源
15	地下貯水槽	地下貯水槽No. 1	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 1.3E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.4E4 (2022.4.5) H-3: ND (2019.9.4)	6.3E3 (2022.6.7)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
16	地下貯水槽	地下貯水槽No. 2	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.1E6 (2018.9.12) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.6E4 (2022.4.6) H-3: ND (2019.9.4)	8.4E3 (2022.6.8)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.6.23時点)

リスク観点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
17	地下貯水槽	地下貯水槽No. 3	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 3.2E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 1.3E4 (2022.2.15) 8.5E3 (2022.6.10) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
18	地下貯水槽	地下貯水槽No. 4	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 2.8E4 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
20	地下貯水槽	地下貯水槽No. 6	タンクエリア	—	【RO濃縮水貯水実績あり】 全β: 7.8E6 (2018.9.11) (参考: 漏えい検知孔水) 全β: 4.5E1 (2019.9.5) H-3: ND (2019.9.5)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
21	地下貯水槽	地下貯水槽No. 7	タンクエリア	—	【タンク堰内雨水貯水実績あり】 全β: 1.5E2 (2018.9.12)	水位計の計測限界水深未満(一部残水あり) (2018.9.26時点)
22	1~4号建屋接続トレンチ	・1号機コントロールケーブルダクト ・集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト(2号機廃棄物系共通配管ダクト) ・1号機薬品タンク連絡ダクト 等	1~4号機周辺	約4~170 (2020.12) 約1~170 (2022.1)	Cs-134: ND~3.2E2 ND~2.5E2 Cs-137: 9.6E1~7.6E3 1.4E2~3.3E3 全β: 9.6E1~8.0E3 1.4E2~7.7E3 H-3: 1.0E2~6.5E3 (2020.12) ND~7.0E2 (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
23	2~4号機DG連絡ダクト	・2~4号機DG連絡ダクト	2~4号機山側	約1600 (2020.12) 約1,600 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 9.3E1 全β: 1.1E2 H-3: ND (2022.1.13)	
24-1	1号機海水配管トレンチ	・1号機海水配管トレンチ	1号機タービン建屋海側	約400 (2020.12) 約410 (2022.1)	Cs-134: ND Cs-137: 4.1E1 全β: 4.5E1 (2022.1.13)	
26	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	・3号機起動用変圧器ケーブルダクト	3号機山側	約830 (2020.12) 約830 (2022.1)	Cs-134: 4.8E1 Cs-137: 4.0E2 全β: 4.4E2 H-3: ND (2017.10)	
28	1~4号建屋未接続トレンチ	・2号機変圧器防災用トレンチ ・消火配管トレンチ(3号機東側) ・1号機主変圧器ケーブルダクト ・1号機廃液サーージタンク連絡ダクト ・1号機オフガス配管ダクト 等	1~4号機周辺	約1~830 (2018.12) 約6~830 (2022.1)	Cs-134: ND~2.3E1 ND~1.0E1 Cs-137: 7.0E0~2.7E2 1.1E1~2.5E2 全β: 5.4E1~7.2E2 1.0E1~2.5E2 H-3: ND~1.7E3 (2018.11~2019.11) ND (2022.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照
29	1~4号機サブドレンピット No.15,16(未復旧ピット)	・サブドレンピットNo.15,16	1~4号機周辺「未復旧」	約20	【No.16】 Cs-134: 2.3E3 5.0E3 Cs-137: 8.0E4 2.1E5 全β: 9.8E4 2.1E5 H-3: ND (2022.3.11) 3.5E3 (2022.5.9)	
30	その他1~4号機サブドレン(ディーブウェル含む)(未復旧ピット)	・1号機~4号機サブドレン	1~4号機周辺「未復旧」	約15/ピット	【No.47.48】 Cs-134: ND~3.9E1 Cs-137: 4.8E1~9.6E1 全β: 7.9E1~2.8E2 H-3: ND (2014.11.10)	
32	1号機放水路 (出口を閉塞済)	・1号機放水路 (出口を閉塞済)	1~4号タービン建屋海側	約4,200 (2018.12.17) 約5,220 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 5.7E1 3.9E1 Cs-137: 1.9E3 1.5E3 全β: 2.3E3 2.0E3 H-3: ND (2022.5.16) ND (2022.6.20)	
33	2号機放水路 (出口を閉塞済)	・2号機放水路 (出口を閉塞済)	2~4号機タービン建屋海側	約3,600 (2018.12.14) 約3,350 (2022.1)	【放水路上流側立坑】 Cs-134: 2.5E1 1.4E1 Cs-137: 8.4E2 5.2E2 全β: 1.2E3 1.1E3 H-3: ND (2022.5.16) ND (2022.6.20)	量について、これまで土砂で埋まっていると想定した水が無いと評価していた放水口部分の水量を追加して保守的に評価 (2022.6.30)
34	3号機放水路 (出口を閉塞済)	・3号機放水路 (出口を閉塞済)	3~4号機タービン建屋海側	約1,600 (2018.12.17) 約3,360 (2022.1)	Cs-134: 1.3E1 2.0E1 Cs-137: 5.6E2 6.5E2 全β: 7.7E2 8.2E2 H-3: 1.9E2 (2022.4.13) 1.4E2 (2022.5.11)	
35	キャスク保管建屋	・キャスク保管建屋	物揚場 西側	約4,500	Cs-134: 7.2E0 Cs-137: 2.3E1 I-131: ND Co-60: ND 全β放射能: 3.1E1 全β放射能: (2014.5.23)	
36	5号CSTタンク (溶接タンク)	・5号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,000 (2022.3.24)	Cs-134: ND ND Cs-137: ND ND Co-60: 9.6E1 7.7E1 (2022.5.10)	プラント保有水を貯留
37	6号CSTタンク (溶接タンク)	・6号CSTタンク (溶接タンク)	屋外(建屋エリア)	約1,650 (2022.3.24)	Cs-134: ND ND Cs-137: ND ND Co-60: 1.2E1 (2022.4.13) ND (2022.5.13)	プラント保有水を貯留
38	5/6号他 トレンチ	・5号機海水配管トレンチ ・5号機スチームドレン配管トレンチ ・5号機重油配管トレンチ(東側) ・5号機放射性流体用配管ダクト ・5号機主変圧器ケーブルダクト 等	5~6号機周辺	約1~1,900 (2015.10~2016.1) 約1~1,870 (2022.1)	Cs-134: ND~2.2E2 ND~1.7E0 Cs-137: ND~9.9E2 ND~5.1E1 (2022.1) (2015.10~2016.1)	量及び放射性物質濃度の内訳は添付資料(1)「2021年度トレンチ等内溜まり水調査結果一覧」を参照

汚染水等構内溜まり水の状況 (2022.6.23時点)

リスク観点検より抜粋・改訂

No.	箇所	対象	場所	量(m ³)	放射性物質濃度[Bq/L]	備考
40	キャスク保管建屋サブドレン	・キャスク保管建屋サブドレン	物掃場 西側	約15/ピット	Cs-134:1.0E+1 Cs-137:1.4E+1 Co-60:<6.0E-01 全γ放射能:2.4E+1 (2012.1.18)	
41	SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	・SPTタンク(1~4号)(A) (溶接タンク)	SPT建屋	約2,800 (2015.3.25時点)	Cs-134:8.0E+4 Cs-137:1.0E+5 Co-60:6.5E+2 (2013.8.27)	プラント保有水等を貯留
42	集中ラド周リサブドレン	・集中ラド周リサブドレン	主プロセス建屋等 各建屋周辺	約15/ピット	Cs-134: ND Cs-137: ND~3.5E1 (2022.5.18)	ND ND~2.5E1 (2022.6.22)
44	純水タンクNo.1	・純水タンク	屋外(建屋エリア)	約850	Cs-134: 2.1 Cs-137: 7.2 全β: 12.2 H-3: ND (2015.5.29)	震災後、坂下ダム補給水を貯留
45	5/6号機建屋滞留水	・5/6号機建屋滞留水	5~6号機	約8,500 (2022.3.24時点) 約10,100 (2022.6.16時点)	【5号機】 Cs-134: ND Cs-137: 7.7E-1 全β: ND H-3: ND (2022.4.21)	ND 9.9E-1 ND ND (2022.5.19)
					【6号機】 Cs-134: ND Cs-137: 1.4E0 全β: ND H-3: 1.6E2 (2022.4.22)	ND 1.4E0 ND ND (2022.5.20)
46	排気筒ドレンサンブピット	・1/2号排気筒ドレンサンブピット	1~4号機周辺	約0.3 [※] <small>※適宜溜まり水の移送を実施</small>	Cs-134: 6.2E4 Cs-137: 2.1E6 全β: 2.1E6 (2022.3.29)	5.8E4 2.2E6 4.3E6 (2022.4.26)
		・3/4号排気筒ドレンサンブピット	1~4号機周辺	約2	Cs-134: 1.5E1 Cs-137: 5.7E2 全β: 6.5E3 (2022.3.31)	
		・5/6号排気筒ドレンサンブピット	5/6号機周辺	約7.6 (2020.3.12)	Cs-134: ND Cs-137: 9.5E0 全β: ND (2022.3.30)	
		・集中RW排気筒ドレンサンブピット	1~4号機周辺	約10	Cs-134: 1.3E1 Cs-137: 3.0E2 全β: 2.7E2 (2022.2.16)	
47	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫(6~8号棟)	固体廃棄物貯蔵庫 (6~8号棟)	約200	Cs-134:ND Cs-137:5.3E+1 全β:4.8E+1 (2017.11.10)	

2021年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

・溜まり水調査結果一覧表【1/3】 (1~4号機周辺の溜まり水があるもしくは過去に溜まり水があった建屋に接続しているトレンチ等)

【別紙 1-1】

NO.	場所	今回調査 2022. 1月実施									
		溜まり水の有無	ボトル表面線量率 (μSv/h)	核種分析結果 (Bq/L)					溜まり水の区分※ ⁸	概算溜まり水量	
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量 (m ³)
1- 1	水処理建屋~1号機T/B連絡ダクト	対策完了 2016. 8									
1- 2	1号機薬品タンク連絡ダクト	なし※ ⁶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 3	1号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.2	2.5E+02	8.3E+03	8.5E+03	7.7E+03	7.6E+02	C	TP+0.674 (OP+2.110)	4
1- 4	1号機電源ケーブルトレンチ (OP+4.000) 1号機電源ケーブルトレンチ (OP+7.000)	対策完了 2016. 7									
1- 5	1号機予備電源ケーブルダクト	対策完了 2016. 9									
1- 6	1号機海水配管トレンチ	あり※ ³	0.2	<6.8E+00	4.1E+01	4.1E+01	4.5E+01	1.3E+02	C	TP+2.824 (OP+4.260)	408
1- 7	1号機共通配管ダクト (北側)	なし※ ⁶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 8	1号機共通配管ダクト (東側)	なし※ ⁶	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 9	1号機コントロールケーブルダクト	あり	0.2	<7.4E+00	1.4E+02	1.4E+02	1.4E+02	<1.0E+02	C	TP+6.314 (OP+7.750)	167
1- 10	1号機ホットシャワードレンタンク連絡ダクト	-※ ¹	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 11	1号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11									
1- 12	2~4号機DG連絡ダクト	あり	0.2	<8.4E+00	9.3E+01	9.3E+01	1.0E+02	<1.0E+02	C	TP+7.604 (OP+9.040)	1,595
1- 13	2号機放射性流体用配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 14	2号機共通配管ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 15	2号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 4									
1- 16	2~3号機非常用電源ケーブル連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 17	2号機電源ケーブルトレンチ	あり	0.2	2.4E+01	9.0E+02	9.2E+02	8.2E+02	5.0E+02	C	TP+3.804 (OP+5.240)	1
1- 18	2号機海水配管 (SW) トレンチ	対策完了 2016. 6									
1- 19	NO. 2軽油配管トレンチ	あり	0.2	9.3E+00	1.9E+02	2.0E+02	2.0E+02	<1.0E+02	C	TP+6.265 (OP+7.701)	15
1- 20	2号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 11									
1- 21	3号機起動用変圧器ケーブルダクト	-※ ⁷	-	-	-	-	-	-	-	TP+7.134 (OP+8.570)	828
1- 22	3号機放射性流体用配管ダクト	対策完了 2019. 12									
1- 23	3号機薬品タンク連絡ダクト	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 24	3号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2012. 5									
1- 25	3号機オフガス配管ダクト (北側)	なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 26	3号機オフガス配管ダクト (南側)	あり	0.3	4.7E+01	1.3E+03	1.4E+03	1.6E+03	<1.2E+02	C	TP+6.150 (OP+7.586)	9
1- 27	重油配管トレンチ (3, 4号機東側)	あり	0.2	2.2E+01	5.7E+02	5.9E+02	6.6E+02	<1.2E+02	C	TP+8.207 (OP+9.643)	5
1- 28	3号機電源ケーブルトレンチ	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 29	4号機放射性流体用配管ダクト	対策完了 2020. 3									
1- 30	4号機薬品タンク連絡ダクト	対策完了 2016. 10									
1- 31	4号機海水配管 (SW) トレンチ	対策完了 2016. 12									
1- 32	4号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	対策完了 2015. 11									
1- 33	集中環境施設廃棄物系共通配管ダクト	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	同上 (2号機廃棄物系共通配管ダクト)	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	同上 (2号機廃棄物系共通配管分岐ダクト)	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 34	共用プール連絡ダクト	対策完了 2013. 2									
1- 35	4号機オフガス配管ダクト	-※ ¹	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 36	4号機共通配管ダクト	対策完了 2016. 12									
1- 37	廃棄物処理建屋間連絡ダクト 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151203 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (北側)_20151203 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151208 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (北側)_20151208 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151216 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151222 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20151228 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20160106 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20160113 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20160120 廃棄物処理建屋間連絡ダクト (南側)_20160127	対策完了 2017. 7									
1- 38	4号機電源ケーブルトレンチ	-※ ²	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1- 39	4号機海水配管トレンチ	対策完了 2015. 12									
1- 40	共用プール連絡ダクト	対策完了 2016. 12									
										計	3,032

※¹ 高線量エリアのためアクセスができない箇所

※² 支障物により内部状況が確認できない箇所

※³ 支障物, 対策済み等により採取場所を変更した箇所

※⁴ 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため, 測定箇所を変更した箇所

※⁵ トレンチ (ダクト) 内全線に溜まり水があり, 採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所

※⁶ 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所

※⁷ 凍土設備の凍結により溜り水の状況が確認できない箇所

※⁸ 溜まり水区分 A: 10⁶Bq/LLレベル以上

(Cs計濃度) B: 10⁵Bq/LLレベル

C: 10⁴Bq/LLレベル以下

2021年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

・溜まり水調査結果一覧表【2/3】（1～4号機周辺の溜まり水があるもしくは過去に溜まり水があった建屋に接続していないトレンチ等）【別紙 1-2】

NO.	場所	今回調査 2022. 1月実施											
		溜まり水の有無	ボトル表面検査率 (μ Sv/h)	核種分析結果 (Bq/L)					溜まり水の区分 ※ ⁸	概算溜まり水量			
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全β	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量(m ³)		
2- 1	NO.1軽油配管トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 2	1～2号機ケーブルダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 3	重油配管トレンチ(1号機PPゲート南側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 4	1号機ボイラー室電気室連絡トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 5	1～4号機発電機注入用窒素ガスボンベ連絡トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 6	重油配管トレンチ(1号機東側)	あり	0.2	<6.7E+00	2.8E+01	2.8E+01	4.6E+01	<1.2E+02	C	TP+2,214 (OP+3,850)	6	—	—
2- 7	1号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<8.8E+00	1.8E+02	1.8E+02	2.2E+02	<1.2E+02	C	TP+3,285 (OP+7,721)	518	—	—
2- 8	1号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	1.0E+01	2.5E+02	2.6E+02	2.5E+02	<1.2E+02	C	TP+5,728 (OP+7,184)	292	—	—
2- 9	1号機変圧器防災用トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 10	1号機廃液サージタンク連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 11	1号機オフガス配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 12	1号機活性炭ホールドアップダクト	あり	0.3	<6.5E+00	1.7E+01	1.7E+01	3.9E+01	<1.2E+02	C	TP+6,584 (OP+9,020)	221	—	—
2- 13	1～4号機共用所内ボイラートレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 14	2号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<6.0E+00	4.3E+01	4.3E+01	7.1E+01	<1.2E+02	C	TP+5,115 (OP+6,551)	604	—	—
2- 15	2号機変圧器防災用トレンチ	あり	0.2	<5.5E+00	3.5E+01	3.5E+01	1.3E+02	<1.2E+02	C	TP+7,664 (OP+9,100)	11	—	—
2- 16	2号機オフガス配管ダクト	—※ ¹	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 17	2号機廃液サージタンク連絡ダクト	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 18	2～3号機共用所内ボイラートレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 19	2号機水素ガス配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 20	消火配管トレンチ(2～3号機T/B間)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 21	消火配管トレンチ(2号機T/B南西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 22	消火配管トレンチ(2号機R/B南側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 23	3号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<6.7E+00	5.2E+01	5.2E+01	6.0E+01	<1.2E+02	C	TP+4,924 (OP+6,360)	474	—	—
2- 24	3号機変圧器防災用トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 25	3号機防災用窒素配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 26	3～4号機重油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 27	ユーティリティ配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 28	4号機海水配管(SW)埋設ダクト	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 29	4号機主変圧器ケーブルダクト	あり	0.3	<4.6E+00	2.3E+01	2.3E+01	1.9E+01	<1.2E+02	C	TP+7,404 (OP+8,840)	828	—	—
2- 30	4号機変圧器防災用トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 31	NO.4, 5軽油配管トレンチ	あり	0.1	<5.9E+00	5.6E+01	5.6E+01	7.8E+01	<1.2E+02	C	TP+8,314 (OP+9,750)	45	—	—
2- 32	4号機西側電気関係連絡トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 33	4号機別棟機械室連絡トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 34	消火配管トレンチ(運用補助共用施設東側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 35	消火配管トレンチ(SPT建屋東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 36	消火配管トレンチ(SPT建屋北側)	あり	0.1	<3.5E+00	1.1E+01	1.1E+01	6.2E+01	<1.2E+02	C	TP+8,354 (OP+9,790)	14	—	—
2- 37	消火配管トレンチ(重油タンク西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 38	消火配管トレンチ(2号機北西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 39	消火配管トレンチ(2号機西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 40	酸素・水素配管トレンチ	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 41	消火配管トレンチ(2号機南西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 42	消火配管トレンチ(共用所内ボイラー建屋西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 43	消火配管トレンチ(3号機東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 44	消火配管トレンチ(3号機北側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 45	消火配管トレンチ(3号機西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 46	消火配管トレンチ(3～4号機排気筒南側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 47	消火配管トレンチ(4号機北西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 48	消火配管トレンチ(運用補助共用施設北側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 49	消火配管トレンチ(4号機西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 50	消火配管トレンチ(4号機南西側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 51	消火配管トレンチ(4号機南側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 52	消火配管トレンチ(放水口北側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2- 53	消火配管トレンチ(4号機東側)	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2-追加1	1号機逆洗弁ピット	対策完了 2020. 6											
2-追加2	2号機逆洗弁ピット	対策完了 2020. 8											
2-追加3	3号機逆洗弁ピット	対策完了 2019. 7											
2-追加4	4号機逆洗弁ピット	対策完了 2021. 5											
2-追加5	1号機放水路	あり	0.1	7.5E+01	2.3E+03	2.4E+03	2.9E+03	1.2E+02	C	TP+1,444 (OP+2,880)	5,219	—	—
2-追加6	2号機放水路	あり	0.1	2.9E+01	8.7E+02	9.0E+02	1.2E+03	<1.0E+02	C	TP+1,544 (OP+2,980)	5,352	—	—
2-追加7	3号機放水路	あり	0.2	1.8E+01	5.9E+02	6.1E+02	6.3E+02	1.3E+02	C	TP+1,644 (OP+3,080)	3,355	—	—
2-追加8	4号機放水路	—※ ²	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
										計	16,939		

※¹ 高線量エリアのためアクセスができない箇所

※² 支障物により内部状況が確認できない箇所

※³ 支障物、対策済み等により採取場所を変更した箇所

※⁴ 前回の水位測定箇所に溜まり水が無いため、測定箇所を変更した箇所

※⁵ トレンチ(ダクト)内全線に溜まり水があり、採水場所を2箇所から1箇所に変更した箇所

※⁶ 一部対策済みにより溜まり水が無い箇所

※⁷ 凍土設備の凍結により溜り水の状況が確認できない箇所

※⁸ 溜まり水区分 A: 10⁶Bq/Lレベル以上

(Cs計濃度) B: 10⁵Bq/Lレベル

C: 10⁴Bq/Lレベル以下

2021年度 トレンチ等内 溜まり水調査結果一覧

・溜まり水調査結果一覧表(3/3) (5・6号機周辺及びその他トレンチ等)

[別紙 1-3]

NO.	場所	今回調査 2022. 1月実施									
		溜まり水の有無	表面線量率 ($\mu\text{Sv/h}$)	核種分析結果(Bq/L)					溜まり水の区分 ※5	概算溜まり水量	
				Cs-134	Cs-137	Cs計	全 β	H-3		水位T.P.(O.P.)	水量(m^3)
対策完了 2021. 12											
3- 1	5号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット										
3- 2	5号機電源ケーブルトレンチ(東側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5号機電源ケーブルトレンチ(西側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 3	5号機共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 4	5号機海水配管トレンチ	あり	0.1	<9.0E-01	3.0E+00	3.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+2,024 (OP+3,460)	554
3- 5	5号機海水配管トレンチ(SW系)東側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5号機海水配管トレンチ(SW系)西側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5号機海水配管トレンチ(SW系)南側	あり※2	0.1	<1.1E+00	1.6E+01	1.6E+01	2.7E+01	<1.2E+02	C	TP+8,444 (OP+9,880)	55
	5号機海水配管トレンチ(SW系)北側	あり※2	0.2	1.3E+00	4.0E+01	4.1E+01	4.8E+01	<1.2E+02	C	TP+8,814 (OP+10,250)	6
3- 6	NO.3軽油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 7	5号機重軽油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 8	5・6号機ストームドレン配管トレンチ	あり	0.1	<8.6E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10,664 (OP+12,100)	7
3- 9	5号機薬品タンク連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 10	サブレーションプール水配管トレンチ	あり	0.2	1.7E+00	5.1E+01	5.3E+01	6.0E+01	<1.2E+02	C	TP+9,764 (OP+11,200)	7
3- 11	共用サブレーションプール水サーージパイプダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 12	5号機重油配管トレンチ(東側)	—※1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 13	5号機放射性流体用配管ダクト	あり	0.3	<6.8E-01	1.3E+00	1.3E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	上部)TP+7,704(OP+9,140) 下部)TP+1,843(OP+3,279)	14
3- 14	5号機主変圧器ケーブルダクト(東側)	あり※3	0.3	<9.0E-01	3.6E+00	3.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8,234 (OP+9,670)	73
	5号機主変圧器ケーブルダクト(西側)	あり※3	0.2	<7.9E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.3E+01	<1.2E+02	C	TP+7,502 (OP+8,938)	96
3- 15	5号機起動用変圧器ケーブルダクト	あり	0.2	<8.7E-01	1.7E+00	1.7E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8,234 (OP+9,670)	33
3- 16	5・6号機通信ケーブル管路	あり	0.2	<1.0E+00	7.2E+00	7.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8,617 (OP+10,053)	2
3- 17	5号機重油配管トレンチ(南西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 18	5号機西側電気関係連絡トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 19	5号機オフガス配管ダクト	あり	0.2	<7.8E-01	1.4E+01	1.4E+01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+11,774 (OP+13,210)	10
3- 20	5号機廃棄物系共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 21	消火配管トレンチ(5号機西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 22	消火配管トレンチ(5号機南側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 23	6号機ポンプ室循環水ポンプ吐出弁ピット	あり	0.2	<1.1E+00	1.8E+00	1.8E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+1,424 (OP+2,860)	940
3- 24	6号機電源ケーブルトレンチ(東側)	あり※3	0.2	<9.9E-01	2.6E+00	2.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+1,858 (OP+3,294)	346
	6号機電源ケーブルトレンチ(西側)	あり※3	0.2	<8.7E-01	9.4E-01	9.4E-01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+3,067 (OP+4,503)	522
3- 25	6号機海水配管トレンチ(北側)東側	あり※3	0.8	<1.2E+00	2.0E+00	2.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+2,414 (OP+3,850)	172
	6号機海水配管トレンチ(北側)西側	あり※3	0.3	<1.0E+00	4.5E+00	4.5E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+3,044 (OP+4,480)	383
3- 26	6号機海水配管トレンチ(南側)東側	あり※3	0.2	<8.3E-01	4.0E+00	4.0E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+0,994 (OP+2,430)	106
	6号機海水配管トレンチ(南側)西側	あり※3	0.2	<9.3E-01	1.2E+01	1.2E+01	1.9E+01	<1.2E+02	C	TP+3,124 (OP+4,560)	368
3- 27	6号機海水配管トレンチ(SW系)南側	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6号機海水配管トレンチ(SW系)西側	あり※2	0.2	<7.7E-01	3.6E+00	3.6E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+7,914 (OP+9,350)	33
3- 28	6号機海水配管トレンチ(SW系)北側	あり※2	0.2	<1.1E+00	6.2E+00	6.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8,073 (OP+9,509)	84
	6号機薬品タンク連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 29	6号機共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 30	6号機パイプダクト(ポンプ室～MGセット建屋)	あり	0.2	<9.0E-01	2.7E+00	2.7E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+1,214 (OP+2,650)	141
3- 31	NO.6軽油配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 32	6号機DG連絡ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 33	6号機主変圧器ケーブルダクト(東側)	あり※4	0.3	<8.1E-01	<8.8E-01	ND	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+8,554 (OP+9,990)	589
	6号機主変圧器ケーブルダクト(西側)	あり※4	0.1	<6.6E-01	2.2E+00	2.2E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+2,952 (OP+4,388)	10
3- 34	非常用ガス処理配管ダクト	あり	0.2	1.4E+00	4.2E+01	4.3E+01	4.9E+01	<1.2E+02	C	TP+2,952 (OP+4,388)	10
3- 35	6号機西側電気関係連絡トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 36	6号機放射性流体用配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 37	6号機オフガス配管ダクト	あり	0.3	<2.0E+00	2.5E+01	2.5E+01	3.1E+01	<1.2E+02	C	TP+11,886 (OP+13,322)	5
3- 38	6号機廃棄物系共通配管ダクト	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 39	消火配管トレンチ(6号機西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 40	旧事務本館北側トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 41	水処理配管トレンチ(事務本館東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 42	水処理配管トレンチ(ろ過水タンク東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 43	水処理配管トレンチ(事務本館北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 44	水処理配管トレンチ(中央交差点東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 45	水処理配管トレンチ(ふれあい交差点北東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 46	5号機酸素・炭酸ガス配管トレンチ	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 47	消火配管トレンチ(5号機南西側)	あり	0.3	<6.9E-01	3.4E+00	3.4E+00	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+9,984 (OP+11,420)	5
3- 48	消火配管トレンチ(排気筒南側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 49	消火配管トレンチ(排気筒北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 50	消火配管トレンチ(6号機北西側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 51	消火配管トレンチ(6号機北側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 52	消火配管トレンチ(6号機北東側)	なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3- 53	5・6号機変圧器防災配管トレンチ(南側)	あり	0.2	<8.2E-01	<1.1E+00	ND	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10,844 (OP+12,280)	3
3- 54	5・6号機変圧器防災配管トレンチ(北側)	あり	0.2	<1.0E+00	1.4E+00	1.4E+00	<1.8E+01	<1.1E+02	C	TP+10,354 (OP+11,790)	1
3- 追加	5・6号機試掘坑	あり	0.2	<7.5E-01	9.7E-01	9.7E-01	<1.4E+01	<1.2E+02	C	TP+7,874 (OP+9,310)	1,869
										計	6,434

※1 支障物により内部状況が確認できない箇所

※2 単体の構造で構築されてる箇所

※3 トレンチ内部で2箇所に分かれ溜まり水が確認された箇所

※4 昨年度調査結果を基に、トレンチ内部に2箇所溜まり水が確認されてきたことから、追加にて西側からの採水も実施(西側採水実施後、今回の東側水位計測結果を確認したところ、昨年度より水位が上がっておりトレンチ内全域に溜まり水のあることが確認された)

※5 溜まり水区分 A: 1.0^6Bq/L レベル以上

(Cs計濃度) B: 1.0^5Bq/L レベル

C: 1.0^4Bq/L レベル以下